

米国 輸出の好調を背景に50台回復(08年1月ISM製造業景気指数)

発表日：2008年2月1日(金)

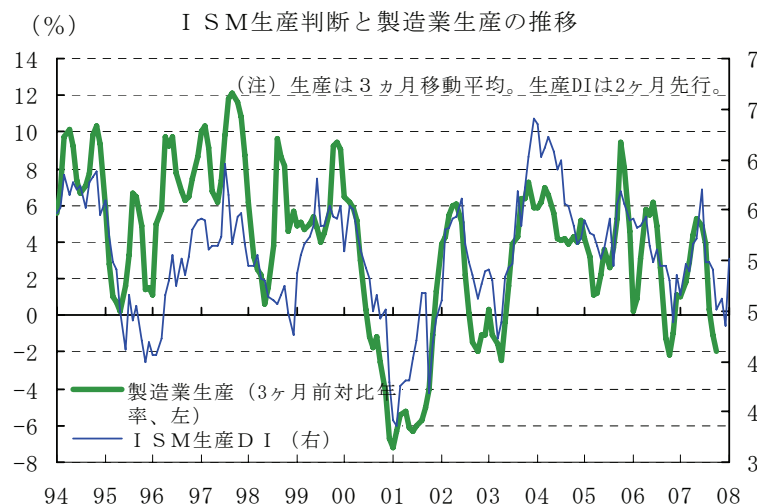
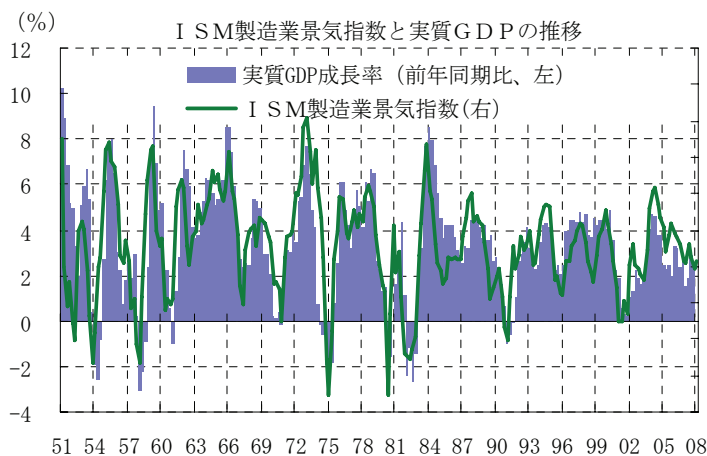
～輸出受注と生産指数が大幅に上昇～

第一生命経済研究所 経済調査部
桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

- 1月のISM製造業景気指数は50.7と前月から2.3%ポイント上昇、拡大縮小の分岐点である50(景気後退を示す水準は41.1)を上回り、製造業部門が拡大したことを示した(市場予想47.0)。指数を構成する5項目では雇用が低下したものの、新規受注、生産、在庫、入荷遅延が上昇した(生産DIが大幅に改善し50を上回った)。拡大した業種数も18業種中8業種(前月7業種)と前月から増加した。
- 住宅部門の下ぶれ、金融市場の混乱、仕入れ価格の上昇によるコスト増加圧力高まりによって国内需要が鈍化する一方、好調な海外需要を背景に輸出受注が拡大、生産が押し上げられていると考えられる。
- 1月のISM製造業景気指数の50.7はISMによると実質GDP換算で+3.0%成長を示すとしており、過去にリセッションに陥ったときの水準をかなり上回っている。
- 今後も低成長が予想されるもと、製造業では住宅・自動車関連部門を中心に95、98、03年の調整局面と同様の動きを続け、ISM製造業景気指数は目先製造業部門の縮小を示す水準で推移すると見込まれる。ただし、海外需要に支えられ大幅な低下は回避されると予想される。

ISM (the Institute for Supply Management) の推移

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
07/06	53.4	58.5	62.0	50.8	45.8	50.0	53.5	68.0	56.0	54.5
07/07	52.3	56.9	54.9	50.3	47.7	51.7	52.0	65.0	56.5	54.5
07/08	51.2	54.5	54.8	50.9	45.4	50.3	50.5	63.0	57.0	52.5
07/09	50.5	53.6	54.1	51.5	41.7	51.7	51.0	59.0	54.5	53.0
07/10	50.4	52.8	50.1	51.8	46.5	50.7	46.0	63.0	57.0	47.5
07/11	50.0	52.5	51.3	48.4	46.4	51.5	41.5	67.5	58.5	47.5
07/12	48.4	46.9	48.6	48.7	45.4	52.6	43.0	68.0	52.5	48.0
08/01	50.7	49.5	55.2	47.1	49.1	52.8	44.0	76.0	58.5	52.5



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。